

2008年7月15日

日本クメール学研究会

仏教とアニミズムの融合 —アンコール地域における稲作儀礼を事例として—

日本クメール学研究会

会長 今川 幸雄

7月の研究会は、カンボジア王立芸術大学特別教授アン・チュリアン先生をお招きしました。

先生は、現在、京都大学東南アジア研究所の外国人研究員として京都滞在中であり、上京の折、特別に本学でもご講演いただくことになりました。先生はカンボジアの宗教人類学がご専門で、パリ大学で博士学位を取得されました。特にアンコール地域に住む人々の信仰について、調査と研究を続けて来られました。

現在のカンボジアの人たちは、仏教行事を中心に一年の生活が組み立てられているといっても過言ではありませんが、アンコール地域の人々の生活には、さらにアニミズム(精霊信仰)が加わり、彼らの生業や人生のさまざまな儀礼と結びついています。今回は特に、アンコール地域の稲作とアニミズムのかかわりについて、ご講演いただきます。

皆さまにおかれましては何かとご多忙とは存じますが、何卒ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：2008年7月29日(火) 18:30 20:00
場所：上智大学中央図書館8階 L-821 会議室

テーマ：仏教とアニミズムの融合
—アンコール地域における稲作儀礼を事例として—

講師：アン・チュリアン教授
(カンボジア王立芸術大学)

クメール語通訳：ニム・ソティーヴン
(本学アジア文化研究所客員所員)

交通案内：JR・地下鉄「四ッ谷駅」下車 徒歩3分
入場無料

連絡先：〒102-8554 千代田区紀尾井町7-1
上智大学アジア人材養成研究センター内
日本クメール学研究会
Tel. 03-3238-4136
Fax. 03-3238-4138